

2018. 8. 3 作成 (文責: 江田)

ビジネスプロデュース力養成ワークショップ  
第3回ワークショップ 振り返りレポート

VIPS2018

◎第3回ワークショップ

日 時: 2018年8月3日(金) 10:00~17:30

会 場: 遠鉄百貨店新館13階 第5会議室

内 容: コンセプトを考える、観察力、考察力、コンセプトコーンなど



商品のコンセプトについて、書き出してホワイトボードに整理する受講者

(1) 最初に事務局の坪井氏より、開会のあいさつと、事務連絡がありました。

(2) 江田講師により、これまでの振り返りがありました。続いて、社会では受験と異なり、答えがない問題に取り組むこと、そのための対応としてバーバラミント著の「考える技術・書く技術」をとりあげて講演がありました。知識習得は、熱力学第2法則を超えること、知識の少ない人からも学ぶことができることが指摘されました。「考える技術・書く技術」において重要な点が示されました。

(3) 高谷講師より、「コンセプトについて」と題した講演があり、これまでの検討の流れについて振り返りがありました。whom と what が大事であることはすでに示されていま

す。しかし、受講に当たって事前に書いてもらったアンケートの中で「コンセプト」については、全 22 名中 18 名が（知っている・説明ができる）と書いたのに、「顧客は誰か」については、全 22 名中 14 名が（知らない）と書いていました。本日のワークで常用する 5 つのキーワードが紹介されました。「1. コンセプト、2. 顧客（ただの生活者、購入してくれた人に加えて、伝道者も）、3. アウトカム（主体者は受益者、受益者にどのような変化を及ぼすか）、4. 商品（製品は工場から出てきたもの）、5. ラダリング（リサーチの時の話法で元々は、はしごの意味）」

（4）山尾講師より、コンセプト事例について講演がありました。コンセプトとは、売りたいものを商品に変えるためのツールである、と説明があり、コンセプトの 3 要素として、ターゲット、便益、理由の 3 つが紹介されました。複数の事例が紹介されました。

（5）高橋講師より、コンセプトについて、面白い事例が複数紹介されました。

（6）午後には、高谷講師から、ワークについてのガイダンスがありました。受講生を 3 グループに分けてワークを進めました。検討対象とする商品のカテゴリーを家事、調理、趣味の 3 つとして希望を募ったところ、3 グループとも調理カテゴリーを選択しました。

（7）受講生が 3 グループに分かれてビックカメラを訪問し、各種情報を把握、カタログを入手してきました（事前に事務局がビックカメラを訪問して趣旨を説明し、了解済）。受講者たちは、グループごとに、調理器具を見ながら楽しそうに相談していました。

（8）高谷講師から、カタログを入手した後のワークについてガイダンスがありました。ワークの内容は、事実（カタログに記載してあること）を抽出すること。情報を整理し、仮説を設定することです。仮説をベースにそのカタログから読み取れるコンセプトコーンを作ってみました。コンセプトコーンは、プロダクトコーンとも呼ばれており、商品コンセプトを三層構造で示したものです。三層の一番下の層から、Attribute（規格、スペック、技術、使用、価格、素材、メリットを実現するための裏付け）、Benefit（買うことによって得られるメリット、機能的なもの、心理的なもの。機能的なものは、数字の裏付けあり、カタログのリードコピー）、Character（一言でいうと、カタログのキャッチコピー）で構成されます。セールスポイントを一言で表現したものがキャッチコピーですが、このキャッチコピーをコンセプトと勘違いしている人が多いです。

（9）岡田サポーター、木村サポーター、江田講師をファシリテーターとして、3 グループでワークを進めました。選ばれた製品はそれぞれ、グリル、炊飯器、コーヒーメーカーでした。集めた情報からコンセプトコーンを完成し、改定案を作ることを目標としました。

## VIPS (Value Incubators Production Studies)

(10) 3グループから選出された発表者が、それぞれのグループワークの内容について全員の前で発表し、質疑応答を行いました。

(11) 本日のワークについて山尾講師、高橋講師、高谷講師からコメントがありました。

(12) 本日の感想、今後の要望などを書いて、提出しました。

以上を終えて、第3回のワークショップを終了しました。



2018/8/3 (金) 開催

## ビジネスプロデュースカ養成ワークショップ（通称：VIPS2018） 第3回

遠鉄百貨店新館13F 第5会議室

## 【テーマ】コンセプトを考える

(敬称略)

事務局：坪井秀次, 山際美紀. サポーター：岡田晃行, 木村祐一

タイムテーブル	内容	担当
10:00 ~ 10:10	事務局連絡	事務局
10:10 ~ 10:40	振り返り・「考える技術・書く技術」	江田英雄講師
10:40 ~ 11:10	コンセプトについて	高谷周司講師
11:10 ~ 11:50	コンセプト事例	山尾秀則講師 高橋康友講師
11:50 ~ 12:30	昼休み	
12:30 ~ 13:00	対象商品の選定について	高谷周司講師
13:00 ~ 14:00	フィールド調査	3グループ
14:00 ~ 14:30	ワークのガイダンス	全講師
14:30 ~ 16:20	商品コンセプトのチェック	3グループ
16:20 ~ 17:10	グループ発表&コメント	グループ×講師
17:10 ~ 17:20	チェックアウト	事務局